

屋内Boxカメラを使って被写界深度を広くとる方法

2021年9月

Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd.

■ 本資料について

屋内BOXタイプのネットワークカメラを使用する際に、被写界深度※を深くとって、画像のボケを緩和する方法についてご説明します

※被写界深度とは、ピントが合っている範囲のことを指しており、ピント範囲が広いと被写界深度が深い、狭いと被写界深度が浅いといえます

以下のように奥行きのある撮影シーンで手前の位置にフォーカスを合わせた場合は暗くなったときに遠くがボケてくることがあります



※一般的にレンズはフォーカス位置が近い所にある時また暗くなり、絞りが開放されている時被写界深度が浅くなります

After :

フォーカス調整位置が遠い時

Before :

フォーカス調整位置が近い時

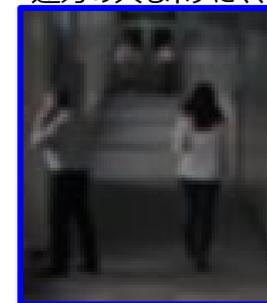
<解決方法>

- ① 手動でフォーカス位置を再調整し、手前から少し遠い所に合わせてください。ピントが合う範囲が奥に移動しますが、範囲が広がります
- ② レンズの絞りが開放近くにならないように照明や感度設定で明るくしてください
- ③ できるだけ明るく、被写界深度の深いレンズをご使用ください

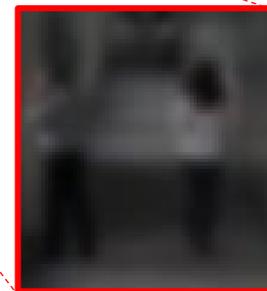
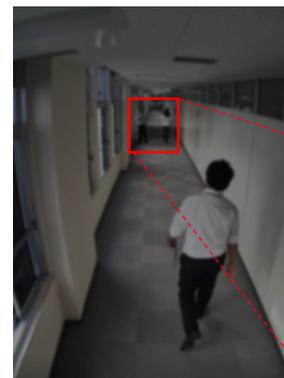
フォーカス調整位置を遠くすることで暗くなったときにボケにくくなる

After :

遠方の人もボケにくくなる

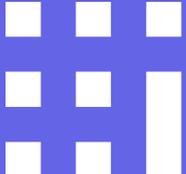


暗くなったときの画像イメージ
(暗くなり絞りが開放)



Before :

遠方の人がボケやすい

 i-PRO